

まちの歴史・伝統文化を知り、 未来へ伝える

佐藤 孝男 (さとう たかお)
 福島町千軒地域活性化実行委員会 会長

農山漁村における地域の活性化や、個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動を紹介するシリーズ。

今回は「わが村は美しく-北海道」運動第10回コンクールで奨励賞を受賞した団体、「福島町千軒地域活性化実行委員会」会長の佐藤孝男さん、副会長の中塚徹朗さん、森の名手・名人の笹島義廣さん、福島大神宮第17代宮司の常磐井武典さん、事務局長の金谷栄一郎さんにお話をお伺いしました。

《自然・歴史・伝統文化・食（そば）の4つのテーマ》

福島町は、北海道初の横綱である千代の山と千代の富士の2大横綱の生誕地としても有名です。また、本州と北海道を結ぶ海底トンネルの「青函トンネル」記念館がある町としても知られています。

福島町がある道南地域は歴史が古く、かつて江戸時代に松前から函館を結んだ街道があり、松前藩主が通っていたことから「殿峠」と呼ばれていました。かねてから福島町史の研究をしていた中塚さんは、ここ千軒地域にも街道の一部が現存していることを調べ、地域住民の方々と整備し「殿様街道」と呼んで大切に維持しています。

2006年、福島町が策定した福島町千軒地域活性化構想を実現するため、2つの「殿様街道ウォーク」「千軒そばの花観賞会」実行委員会を統合し「福島町千軒地域活性化実行委員会」が立ち上がりました。



殿様街道探訪ウォークの様子



(写真左から) 笹島さん、常磐井さん、佐藤さん、中塚さん、金谷さん

《過去の偉人も行き来した歴史ある街道》

実行委員会では、年2回春・秋に旧街道を活用した「殿様街道探訪ウォーク」を開催。イベントではメンバーがお侍さんや当時の旅人に扮装し、全長約7kmのコースを中塚さんの歴史ガイド、笹島さんの解説付きで季節の植物やブナ林を鑑賞しながら歩きます。街道歩きが終わった後は、昼食に名物の十割「千軒そば」を味わい、国の重要無形民俗文化財に指定されている福島大神宮の「松前神楽」を見ることが出来ます。参加者は神楽の鑑賞後に出来栄えをほめる意味合いの「ヨウソロー（良くて候）」という掛け声を行い、イベントは終了します。

8月下旬には「福島町千軒そばの花鑑賞会」を開催。佐藤さんが会長を務める千軒そば生産会が作付けした3.5haのそば畑が一面真っ白に染まります。満開のそば畑の真ん中に設けた舞台では「松前神楽八乙女舞」が奏上され、その様子はとても幻想的です。

2022年にはその街道の歴史的な価値が評価されて、「日本の山岳古道120選」に選ばれました。今後は全国的にも注目され各地から街道を訪れる人が増えることが予想されます。実行委員会では、イベント以外の日でも街道を訪れる方のために、街道の4カ所に案内板を設け、QRコードで詳しい歴史のガイドができるようコースを整備する予定です。また、安心して訪れてもらえるよう、野生動物の出没に対する安全対策も検討しています。

今年は5月3日に春の「殿様街道探訪ウォーク」を開催。秋は10月下旬の予定です。ぜひ皆さんも歴史の道を辿りながら、素晴らしい自然を楽しみ、伝統文化に触れ、幻の千軒そばを堪能してはいかがでしょうか。

※当協会ホームページ、開発調査総合研究所・調査研究報告書から「わが村は美しく-北海道」運動第1～9回受賞団体の活動概要をまとめた冊子をご覧ください。